

# 分かりたくないあなたのための 会計学入門

## 第10回

### 財務諸表分析：安全性と成長性

## 今回のメニュー

- 財務諸表から分かること(第9回)
  - 損益計算書 収益性
    - ROA, ROE, EVA
- 財務諸表から分かること(今回)
  - 貸借対照表 安全性
    - 当座比率, インタレスト・カバレッジ・レシオ
  - 貸借対照表 & 損益計算書 成長性 & 安全性
    - 複利計算による成長性の分析

## 安全性：代表的な指標

- 古典的な指標
  - 流動比率など
- 損益計算書を用いた指標
  - インタレスト・カバレッジ・レシオ

## 流動比率

- 貸借対照表を用いた指標の一つ
- 短期的な負債の返済能力を示す
- 理論値：200%以上
  - 資産の換金を急いだため、資産が思うように売れなくても（半値でも）、負債を返済できる

$$\text{当座比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$$

## インタレスト・カバレッジ・レシオ

- 企業は生き物
    - 活動状況から安全性を判断する指標が必要
  - 負債（借入金）の返済能力
    - 利息が期日通り返済されるかどうか？
    - 利息を支払うのに十分な利益があるか？
- インタレスト・カバレッジ・レシオ

$$= \frac{\text{営業利益} + \text{金融収益}}{\text{支払利息割引料など}}$$

## 安全性：代表的な指標

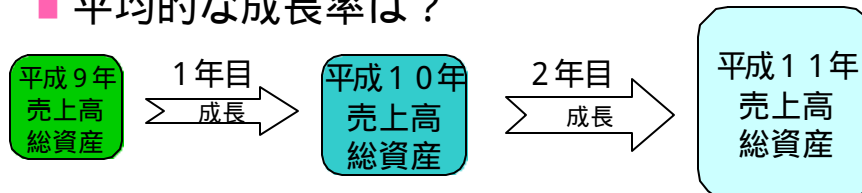
- 企業の将来の業績予測
- 重要項目が変化してきた状況
- 複利計算による成長性の分析
  - 売上高
  - 売上原価
  - 総資産（負債＋資本）

## 成長性の分析1

### ■ A社の売上高と総資産

- 平成9年：売上高：100, 総資産：100
- 平成10年：売上高：110, 総資産：110
- 平成11年：売上高：121, 総資産：110

### ■ 平均的な成長率は？



## 成長性の分析2

$$(1 + \text{成長率})^{\text{経過年数}} = \frac{\text{最終年度の数値}}{\text{基準年度の数値}}$$

$$\text{成長率} = \sqrt[\text{経過年数}]{\frac{\text{最終年度の数値}}{\text{基準年度の数値}}} - 1$$

$$\text{売上高成長率} = \sqrt[2]{\frac{121}{100}} - 1 = 1.1 - 1 = 0.1$$

$$\text{総資産成長率} = \sqrt[2]{\frac{110}{100}} - 1 = 1.049 - 1 = 0.049$$

## まとめ

- 財務諸表から分かること(第9回)

- 損益計算書 収益性

- ROA , ROE , EVA

- 財務諸表から分かること(今回)

- 貸借対照表 安全性

- 当座比率 , インタレスト・カバレッジ・レシオ

- 貸借対照表 & 損益計算書 成長性 & 安全性

- 複利計算による成長性の分析